

武力で平和は守れない

医師 中村哲 現地活動35年の軌跡

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？その答えは、命を見つめ続けた中村の生き様の中にあり、私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。



「彼らは殺すために空を飛び、

我々は生きるために地面を掘る。」 —中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらず事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えて人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、

そして飾りのないむきだしの生死がある。」 —中村哲

専門家がいないまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死…。中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして—。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。その報にアフガニстанは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていくだろう。

戦火のアフガニスタンで21年間継続的に記録した映像から、これまでテレビで伝えてきた内容に未公開映像と現地最新映像を加え劇場版としてリメイク。混沌とする時代のなかで、より輝きを増す中村哲の生きざまを追ったドキュメンタリー！



—[劇場版]について—

この映画は、2022年に完成した作品で[DVD版]とは異なって、2019年中村哲さんが凶弾に倒られた後の、アフガニスタンの状況を描いています。

2024年大洗町生涯学習課映画上映会

◆日時／2024年2月10日(土) 上映時間／①午前10時30分～ ②午後2時～
【開場各30分前・上映時間90分・字幕付上映】

◆会場／トヨペット スマイルホール 大洗(大洗町民会館)

◆鑑賞料金 前売券 1,100円 【チケット販売開始日：10月28日(土)～発売中】
(当日券／一般：1,400円、小・中・高生：800円)

※チラシ持参で一般当日券 1,200円に割引

◆前売券取扱所／大洗町生涯学習課窓口(平日 9:00～17:00)・茨城映画センター(前売券予約専用
☎090-2641-3156／平日10:00～17:00)・デジタルチケット

※遠隔地の方はデジタルチケットもご利用できます。詳しくは二次元コードを読み込んでください。

◆共催＝大洗町教育委員会生涯学習課【☎029-266-2442】

◆共催＝(有)茨城映画センター【☎029-226-3156】

PassMarket

